2017 年 4 日合併号



若葉の緑が目にも鮮やかなこの頃、 皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

CPO-JP 会報 4 月号をお届けいたします

理事長就任のご挨拶
新理事長 野口 和紀
理事長退任のご挨拶
前理事長 秋田 敏彰
平成28年度第4回理事会議事録
事務局からのお知らせ



1. 理事長就任のご挨拶

連日、寒暖の差がありつつも、徐々に春らしさを感じて参ります。

この度、秋田前理事長よりご指名を頂き、新理事長職を拝命致しました野口和紀でございます。

まずは秋田前理事長には、CPO-JP 創設より、大変なご苦労をお掛けいたしましたことに、まず、御礼申し上げたいと思います。

本当に有難うございました。

そして、その秋田前理事長の後任を仰せつかり、力不足は目に見えて明らかではございますが、粉骨砕身、頑張っていく 所存です。

現在、日本のコンテンツ制作業界は一見好況に見えますが、 疲弊しきっており、製作現場は、さらに過酷な環境となって おります。

クオリティーの担保となる人材確保は困難を極めており、一 昔前には考えられなかった、放送を落とすといった事態に 陥っている制作会社も出てきております。



日本コンテンツ振興機構 理事長 野口 和紀 株式会社スタジオディーン 取締役 一般社団法人日本動画協会 理事

日本のアニメーション業界の仕事は、明らかに増えております。

これは間違いなく我々アニメーション業界が、国内のみならず、世界に認められているからであり、さらに、アニメーションを必要としている媒体も、増加しているからに他なりません。

ただ、市場の拡大に浮かれ、この制作現場の現状を無視して肥大し続けると、粗製乱造に陥り、バブルの崩壊の道を突き進むことになり兼ねません。

我々 CPO-JP としましては、コンテンツ制作のインフラ強化になるような、施策を提案して参ります。 この業界の更なる発展に寄与できるよう、頑張って参ります。

皆さま方にも、何卒、倍旧のご支援ご鞭撻を賜りたいと存じます。 今後とも、宜しくお願い申し上げます。

平成29年3月吉日



2. 理事長退任のご挨拶

日本コンテンツ振興機構の発足からこの春で丸5年になります。

時の流れと共に過ぎ去った活動の歴史を振り返りつつ平成24年7月に発刊した会報1号を読み返しています。 会員や賛助会員各位のご期待に充分応えきれないまま、理事 長を退任することになり申し訳ない気持ちで一杯です。

機構発足当初、活動の柱にした「コンテンツシティー構想」とは最新鋭のスーパーコンピューターを導入してコンテンツ制作各社が共同使用し、人材育成機関やシアターを配置したコンテンツシティーを創ろうと言うものでした。

沖縄県を始め瀬戸内市、仙台市、そして北海道などシティーの誘致に前向きな自治体との折衝も続けました。

また、経済産業省の「CG・VFX 共通基盤検討委員会」に参画 し半年間に亘り実証実験を行ったりもしました。

しかしクラウドに象徴される情報通信技術の進歩や技術環境の変化は著しく、当初のシティー構想は諦めざるを得なくなりました。

事業委員会、ビジネスクリエイション部会、技術委員会では 新たなシティー構想の企画に注力すると共に会報でご報告

した通り具体的な活動にも取り組みそれぞれ一定の成果を出してきました。

しかし日本のコンテンツ産業を取り巻く環境は、機構設立当時より一層厳しさを増しています。

アメリカの大型企画を始め中国のアニメーション制作技術の著しい向上と資金力、韓国の国策によるコンテンツ海外展開などに対抗して日本は国際競争力を保持し続けて行かなければなりません。 また国内においては最新の技術を取り入れる資本力の増強や、制作現場での労働環境の改善は待ったなしの課題です。

日本のコンテンツ産業の維持・発展の為の課題を洗い出しそれらの課題への対応策をいち早く提言すると共に、課題解決に向けた具体策に取り組まなければなりません。 そういう意味において弊機構の役割は今後も大きいと考えます。

野口理事長、小山副理事長、小坂専務理事の新3役を中心に活動の輪を拡げ日本のコンテンツ産業界においてその存在感を強めて頂きたいと願っています。

小生は今後とも一理事として活動を支えて行きます。

会員・賛助会員各位におかれましてはこれまで同様に新執行部並びに機構を引き続きご支援して頂きますようお願い致します。



日本コンテンツ振興機構 前理事長 秋田 敏彰 ジャパン・ニュー・エナジー株式会社 取締役副社長 元株式会社総合ビジョン社長



会員・賛助会員各位には、5年間にわたり拙い理事長に頂きました ご指導ご協力に衷心よりお礼申し上げ退任のご挨拶とさせて頂きます。 有難うございました。

平成29年3月吉日



3。平成28年度第4回理事会議事録

平成29年3月30日16時00分、東京都中央区日本橋箱崎町19番21号 日本アイ・ビー・エム株式会社7Fにおいて、理事13名(内、委任状9名)(総理事数16名)のもとに、理事会を開催し、下記議案につき可決確定の上、17時00分散会した。

■審議事項

第1号議案 CPO-JP 次年度の活動に関する件

議長は、提出された以下の29年度CPO-JP事業案に関して、詳細を再提出してもらい再検討することの承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

- 1.パーク事業者向けコンテンツコラボ事業
- 2. 我が国及び海外における映像文化資産保存状況の調査

第2号議案 登記変更の手続きに関する件

議長は、登記変更の手続きに関して以下の内容について、その承認を求めたところ、満場異議なくこれを 承認可決した。

委託先 司法書士法人森下法律事務所

費用 44,735 円(税込)

■報告事項

各委員会からの報告

事業委員会委員長 IBM 小坂氏が欠席のため報告なし、技術委員会委員長キューテック伊藤氏より、技術委員会は休止中のため特になしの旨が報告なされた。

会報・HPに関する報告

副理事長小山昌孝氏より今後の方針運営に関して、新三役と事務局で後日下打ち合わせする旨が報告された。

退会報告

株式会社ヨコシネディーアイエー様の退会報告がなされた。

会計報告

事務局長スタジオディーン飯嶋氏より 平成29年3月30日時点での会計報告がなされた。

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、17時00分閉会した。



4. 事務局からのお知らせ

- ・平成 29 年度社員総会並びに平成 29 年度第 1 回理事会は 5 月 26 日(金)16:00 より IBM 様にて 行います(予定)。
- ・次回の運営委員会は6月23日(金)16:00よりIBM様にて行います。

開催日が近くなりましたら、改めまして事務局よりご案内申し上げます。

ご意見・ご感想は下記の事務所までご連絡ください。